

花きの市場別販売概況(3月見通し)

令和4年2月28日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	数量は重油高と寒波の影響で少なく、高冷地からの入荷はごく少量。西南暖地は後半から増加し中旬以降は減少。引き合いはバレンタイン需要のある週に集中。輸入は、オミクロン株の影響で、エチオピアとエクアドル産の延着が発生しており、不安定な状況(大田花き)。山形、栃木、群馬、静岡、愛知等。小売り、業務需要とも大きな動きないが少ない入荷続き保合相場(FAJ)。入荷は少ない。下旬にかけて増える見込み。バレンタインの需要で赤とピンクの引き合いは強い(世田谷花き)。低温による生育の鈍化と冬季改植で出荷が少ない。業務需要中心の動き。寒さで客足が鈍く小売りの店頭販売は厳しい(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	数量は重油高の影響で例年より少ない。高冷地は後半からやや増加。輸入は、昨年同様からやや増加。引き続き、オミクロン株の影響でフライトの欠航が突如発生する可能性があり、エチオピア産は特に不安定な状況。ケニア産は安定する見込み。
		FAJ	栃木、千葉、神奈川、静岡、愛知等。徐々に歓送迎会需要が増え小売りの引き合いは強くなる見込み
		第一花き	
		世田谷花き	入荷も例年通り増え、コロナの状況次第だが、中下旬にかけては相場も期待。
東日本板橋花き	年度末需要に向けて入荷は徐々に増加傾向の見込み。		
アルストロメリア	現状	出荷量は各産地で増加し、需要が少なく単価下げた相場での販売が続く。葬儀需要・ブーケメーカーへの販売が中心となるが、業務需要は弱い問い合わせとなっている(大田花き)。愛知、長野、山形より入荷。安定した数量が続き70-60cm主体に花束加工用中心の取引(FAJ)。安定出荷。需要そこまで伸びず安値傾向。品質は問題ないが、寒さで切り前が硬い(世田谷花き)。愛知中心の入荷。昨年より多めの入荷。各色、各等級潤沢な入荷(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野中心に、気温の上昇とともに数量増加する。下旬に向けて出荷最盛期となる。
		FAJ	愛知、長野、山形より入荷。日照、気温増加し出荷量も増える予定。需要期通して活発な取引を見込む。
		第一花き	
		世田谷花き	引き続き安定出荷。歓送迎会で、ある程度動く見込み。
東日本板橋花き	愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。		